

宮崎県社会教育委員連絡協議会 会報 [第6号]

平成21年8月発行

就任あいさつ

宮崎県社会教育委員連絡協議会会長 竹林国興

今年度初の会報発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

去る8月4日県立美術館で開かれた総会で、会長に選任されました。長年に亘り宮崎県の社会教育発展のために御尽力された上條秀元先生の後を引き継ぐことになり、責任の重さを痛感しています。皆様方の御支援・御協力をお願いします。

戦後教育60年の反省にたつて、国においては大きな教育改革がなされており、今や議論の場を終えて実施の段階に移行されたと言われてしています。

県社会教育委員会では、平成19・20年度「家庭や地域の教育力の向上を図る具体的な方策」について2分科会を設置して協議を重ねてきました。「食育を通じた家庭教育の充実」「住民参画による活動拠点づくり」の2つのテーマを設けて、熱い議論を交わしまとめたものを県教育長へ提言いたしました。行政、学校、団体や企業へ向けての具体的な提言を行っていますので、県内の社会教育委員の皆様には、是非一読していただき、今後の取組に活かしていただくようお願いします。

今、家庭、地域の教育力を如何に高めるかが、大きな行政課題として取り上げられ、社会教育の役割が大変重要視されています。しかし、残念なことに県内では、行財政改革の影響を受け、3町村に社会教育委員が設置されていない状況が出てきました。8月4日に開催した研修会でも、この問題が取り上げられたところであり、今後、組織を継続していくうえでも、大きな課題として取り組んでいきたいと考えています。

終わりに、各市町村社会教育委員会協議の充実発展と皆様のご活躍を御祈念申し上げ就任の挨拶といたします。



社会教育委員としての取組

(各地区代表より)

【宮崎地区】

宮崎地区会長 池田 昭

《内容》～宮崎地区社会教育委員連絡協議会総会・研究協議会（会場：綾町図書館）

1 総会

【詠田氏の講演の様子】

- (1) 平成20年度事業報告・決算報告
- (2) 平成21年度役員選出、事業計画案、予算

2 研究協議会

- (1) 研究発表・協議

発表：綾町社会教育委員 森山 喜代香 氏

- (2) 講演

演題：「地球環境問題の現状と今、私たちにできること」

講師：宮崎県環境情報センター長 詠田トキ子氏

※ 参加者は、29名であった。研究発表も講演もとても充実した内容であった。

《主な年間行事》

- ・ 6/ 4 第1回理事・担当者会
- ・ 7/ 9 総会・研究協議会
- ・ 11/27 第2回理事・担当者会・研究協議会
- ・ 2/26 第3回理事・担当者会



【南那珂地区】

南那珂地区会長 中島 淳祐

《総会・第1回研修会》

- 1 日時 6月17日（水）
- 2 研修会 講話 演題「幸せの花を咲かせたい」
講師 花ふぶき一座座長（宮崎県社会
教育委員）宮田 若奈 氏



3 総会

- (1) 本年度から新日南市（日南市・北郷町・南郷町が合併）と串間市の二市になり、規約改正、予算の再構築をおこなった。
- (2) 本年度の努力事項として、県教育委員会の事業である「学校支援地域本部事業」や「親子のきずな応援事業」等の推進に協力していくことが決まった。

《主な年間行事》

- ・ 9月17日 第2回理事会・会報発行委員会
- ・ 12月8日 研修視察
- ・ 1月14日 第2回研修会（小中学校生涯学習担当者ととの合同研修会）
- ・ 1月22日 会報発行委員会
- ・ 2月26日 第3回理事会

【北諸県地区】

都城市社会教育委員（委員長） 川島博章

北諸県地区においては、都城市と三股町に、それぞれ社会教育委員が置かれています。三股町では、6名の委員が委嘱され、既に第1回会議が行われました。特に今年は、全国社会教育研究大会が、九州ブロック大会を兼ねて、お隣の熊本県で開催されることもあり、全員で参加しようと頑張っておられます。

都城市では、7月23日に第1回の会議があり、役職等の交代による3名の委員が新たに委嘱されました（委員数は15名）。今年も、昨年度に引き続き、都城市の生涯学習推進基本計画について、私どもの会議で審議することになっています。



【西諸県地区】

西諸県地区会長 西 誠

西諸県地区社会教育委員連絡協議会の本年度総会は、平成21年7月2日（木）野尻町役場会議室で行われ、4市町の委員25名が参加した。

西誠会長が「生涯学習という視点では、社会教育の果たす役割は大きい。フットワーク・ネットワークそしてチームワークをもって、行動する社会教育委員であろう」とあいさつ。本年度も「生涯学習の視点に立った豊かな地域づくり」をテーマに活動することを確認した。



研修会で委員は、市町ごとに分かれ本年度のテーマに沿って協議。「家庭・学校・地

域をつなぐパイプの役割を果たしていきたい」「町内全ての子どもたちに、放課後における安心・安全な居場所を確保してやりたい」などの意見が出た。

《主な年間行事》

平成21年 7月 第1回研修会・総会～事業報告、役員改選、事業計画、市町別協議
 平成21年10月 第2回研修会 ～他市町社会教育委員との協議、視察研修
 平成22年 1月 第3回研修会 ～実践発表、講演

【西都・児湯地区】

西都・児湯地区会長 久保 兼年

《総会・研修会》

- 1 期日：6月30日（火）
- 2 場所：西都市公民館
- 3 総会

- (1) 平成20年度事業経過報告並びに決算報告について
- (2) 平成21年度事業計画（案）並びに収支予算案について
- (3) 平成21年度役員改選について

4 研修会

史跡視察 <説明> 西都市教育委員会社会教育課 簗方 政幾 副参事

- (1) 都於郡城跡と伊東氏一族
- (2) 日向国分寺跡及び木喰上人とその彫像

《主な年間行事》

- ・ 10月 管外地区との交流会（場所等未定）
- ・ 11月20日 宮崎県社会教育委員研究大会（高鍋町）
- ・ 2月 西都・児湯地区社会教育委員視察研修（場所等未定）



【東臼杵地区】

東臼杵地区会長 柘植 健

《総会・第1回研修会》

東臼杵地区社会教育委員連絡協議会は、日向市中央公民館で6月26日に総会を開き、新役員体制のもと新年度を力強くスタートしました。総会後の第1回研修会では、地域コーディネーター酒井梢さんから「岡富中学校区学校支援地域本部事業をとおして」という演題で講話をいただき、家庭、地域社会と学校との連携・協力の在り方について研修を深めました。具体的で豊富な取組や地域コーディネーターとしての工夫に感嘆の声が聞かれました。第2回研修会は、椎葉村を会場に椎葉ならではの研修にしようと計画しています。

本年度も汗と知恵を出し合い、「学校・家庭・地域社会との連携と協力の在り方」という年間テーマの実現に向け、研鑽と資質向上に努めていきます。

《主な年間行事》

6月16日	第1回三役会・理事会		
6月26日	総会・第1回研修会		
9月11日	第2回三役会・理事会		
12月11日	第2回研修会	3月 3日	第3回三役会・会計監査



【西臼杵地区】



高千穂町社会教育委員 押方 勇夫

高千穂町社会教育委員は、社会教育関係団体代表者及び学識経験者で構成され、年2回の会議と1回の研修視察を実施し、委員の資質の向上を図っています。

会議では地域住民と社会教育のかかわりや、生涯学習を推進していくための施策について委員の意見を集約し、学習計画に盛り込み講座開設等に活かしており、その結果、生涯学習推進会では、毎年、うるおいと・やすらぎ・いきがいのある町づくりをめざして「町民のつどい」を開催していますが、その幹事として参加し本町の特性を生かした個性豊かな生涯学習の推進に向けて、みんなで協議しています。

また、地域でこどもを育てる『子育て応援「ゆい」高千穂事業がまだせ若竹会議』を結成し、生活リズム向上、読み聞かせ、夏休み冬休み中の学習教室等を行い地域のボランティア団体と連携をはかりながら活動しています。

昨年の視察研修では、福岡県小郡市松崎地区が高齢化の進む中、町の賑わいを取り戻そうと、歩いて楽しい『景観まちづくり』で新たな歴史・文化の再発見に努めている取り組みを視察し、今後の本町の町づくりについて勉強しました。

本年度は地域における生涯学習また、学校・家庭との連携を図るべく地域教育力向上に関した先進地視察を実施したいと考えており、社会教育委員の職務を達成するために、「住みよいまちづくり」を目指して、微力ながら日々研鑽し地域住民の意向を反映させた委員会にしていきたいと思っています。



宮崎県社会教育委員連絡協議会総会・研修会報告

(事務局)

1 日時 平成21年8月4日(火)

2 場所 県立美術館

3 参加人数 32名

4 総会内容

① 会長あいさつ

上條会長からメッセージをいただき、事務局長が代読しました。

(メッセージ要旨)

- 皆様方には、日頃宮崎県並びに市町村の社会教育振興のためにご尽力いただいていることに対して、心から敬意を表する次第です。
- 宮崎県での在任中、10有余年にわたり、皆様とともに社会教育委員の職務に関わらせていただく中で、社会教育推進に果たす社会教育委員制度の意義・役割を再認識することができました。
- 近年、社会が大きく変わる中で、社会教育の役割が改めて重視されるとともに、行政の役割も、行政主導から住民参画へと転換がなされつつあります。



- ・ 民意を行政施策に反映する社会教育委員制度は、重要性を増すとともに、政策の骨格となる社会教育計画づくりへの参画も期待されております。
- ・ 「社会教育に関する諸計画の立案」という社会教育委員の職務を生かし、今後の地域づくりや社会教育のあり方を展望する長期的な視点に立って、社会教育計画づくりに参画することが期待されております。
- ・ 今こそ社会教育委員制度に魂を入れることが求められ、皆様のご活躍が期待されております。

② 議長選出 池田理事を選出

③ 議事

第1号議案 平成20年度事業実績報告について

第2号議案 平成20年度決算及び監査報告について

- ・ 昨年度は、本協議会の収入の確保策について各市町村、地区で協議をしていただいた。
- ・ 次年度繰越金が多いが、きりつめた支出を行った。

第3号議案 平成21年度活動方針及び事業計画案について

第4号議案 平成21年度収支予算案について

- ・ 活動方針として、「特に、今後ますます社会教育委員の役割が大きくなっていく中、関係機関とネットワークづくりの推進役として、生涯学習・社会教育の充実を図り、豊かな地域づくりに寄与していくこと」が確認されました。
- ・ 協議会の厳しい財政状況もあるが、新たな収入源については当面現状維持として、緊急に対応しなければならない場合が出てきた時は、臨時理事会を開催することが承認されました。
- ・ 情報誌「社教情報」の積極的購入についてお願いしたい。

第5号議案 平成21年度役員改選案について

- ・ 計10名の理事及び2名の監事を選出しました。

※ 内規により、会長は県社会教育委員会議議長、副会長は、宮崎地区と西諸県地区からの選出。

※ 1号議案から5号議案まで、承認

5 研修会内容 (○は委員の発言)

① 説明「国・県の社会教育の動向について」社会・家庭教育担当主幹 坂上大司
(資料をもとに説明)

② 質疑

○ 先日の東臼杵地区の研修会で学校支援地域本部事業のコーディネーターの方に講演をしていただいた。いい仕組みができていますので、是非継続してほしい。国の委託や補助が終了しても県がなんらかの形で継続してほしい。

→ 有り難い意見であり、何らかの形で継続するように検討したいと思う。

○ 親子のきずな応援事業での、「親のふり返しシート」について具体的に説明してほしい。

→ 現在作成中であり、親子の会話をするその材料にしてほしいと思っている。また、子どもの悩み等に対してアドバイスになるものをイメージしている。

○ 説明で、青少年教育のことは、よく触れられていたが、成人教育のことはあまり触れられていないのはなぜか。

→ 成人教育もちろん大切であり、全てを推進していると考えている。



③ 意見交換「社会教育の新たな役割について」

司会 最初に、各地区または各市町村の取組について紹介していただきたい。

(省略)

司会 テーマ「社会教育の新たな役割について」発表をお願いしたい。

- テーマの「社会教育の新たな役割について」の意図するところは、①その時代の移り変わり、②変えてはならないもの、③変わらなければならないものがある、④住民が参画する社会教育が大事である。

以上を踏まえて、2点ある。

一つは、社会教育の特徴をしっかり持つことが必要であり、人間関係づくり、人づくり、集団づくり、地域づくりの新たな展開が必要だと考えている。

二つは、地域の教育力の向上に向けて、学びあいを深めることが大切だと思う。地域での声かけ激励が必要であり、そのためには地域の実態把握が必要である。簡単なことでもできることをできる時にやる必要があると思っている。

- 社会教育はもともと地域づくり人づくりの精神でスタートしたと思っている。今後も社会教育の果たす役割はますます増すものであると思う。

地域住民の地域への参画意識が大切であり、それを支援するものとして、社会教育委員の役目があると思って活動している。

- 本町は、放課後子ども教室で子どもの安全な居場所づくりをしている。すばらしい取組がなされていると思う。また、高齢者の生き甲斐づくりが大切であり、生涯学習講座に力を入れている。私もパソコン講座にも参加した。

町立の図書館をつくりたいという町としての思いがあり、社会教育委員として、それについて様々な意見を積極的に述べていきたいと思っている。

- 本市の社会教育委員としては、学校・家庭・地域が一体となった市民協働の在り方をテーマに考えている。学校完全週5日制が導入された時など大きな節目に提言をまとめている。19年度20年度は、家庭教育事業について提言としてまとめた。この提言を提出する取組を通して、社会教育委員としての質の向上が図られると思っている。

- 地域の人間関係が希薄になりつつあり、学校と地域と保護者と一体となって教育を進めなければならないと思っている。社会教育委員としては、その中心となって地域住民の意識を高めることが大切である。

県の事業であった地域で子どもを育てる「地域教育システム創造」実践モデル事業に取り組み3年経過したが、現在も自主的に継続して取り組んでいる。その中で、子どもの生活リズムの育成や読み聞かせ活動を実施している。

- 社会教育委員を置かない市町村があるなど、その状況に危機感を感じている。

町の社会教育部会で長期計画を作成しようとしている。このような状況の中で、危機感をもって提言をしたいと考えている。

司会 積極的に御意見をいただきありがとうございます。この御意見を参考にして、それぞれの市町村において社会教育の充実に向けて取り組んでいただきたい。





生涯学習課

『「親子のきずな」応援事業』に取り組めます！



『「親子のきずな」応援事業』ってなに？

親が自覚と自信をもって子育てに取り組むことができるよう、地域での学習機会の充実を図るとともに、家庭教育支援者の養成を行い、さらに、PTAと連携し親子のきずなについて考える機会を提供することにより、地域が一体となって家庭教育を支援する環境づくりの推進を図る事業です。

様々な状況の子育て中の親

地域で 支援



家庭教育に関する提案型
出前講座の実施



応援



応援

家庭教育支援ボランティア
養成講座の実施



応援

「親のふり返しシート」の
作成・配付

出前講座

子育て中の保護者のグループ等を対象に、家庭教育に関する講座の講師派遣要請を募り、出前講座を実施します。

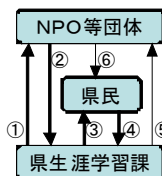
親のふり返しシート

子育て中の親が、子どもの様子を見守る際の視点や、子どもの変化を早期に発見するための視点を掲載したシートを作成し、配付します。

養成講座

家庭教育支援に関心のある地域住民を対象に、保護者を支援する際の基本的な心構えなどに関する講座を県内3か所で開催します。

提案型出前講座までの流れ



- ① 講座テーマの募集
- ② 講座テーマの応募(提案)
- ③ 「出前講座テーマ一覧」の公表
- ④ 提案型出前講座の申込み
- ⑤ 担当団体等の調整・決定
- ⑥ 出前講座の実施

「出前講座テーマ一覧」は随時更新します。
NPO法人や社会教育関係団体の皆さん！
引き続き、講座テーマや講師情報をお寄せください！！



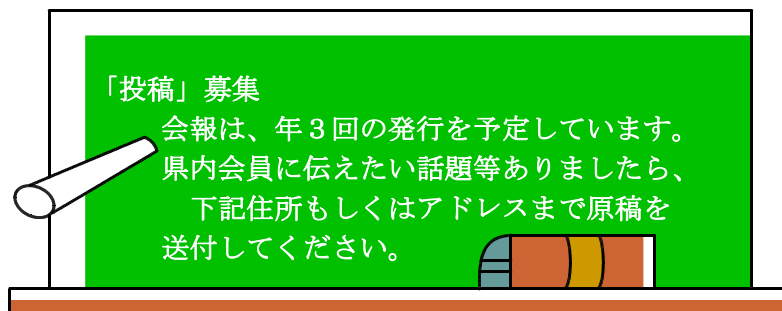
SUN-NETみやざき
宮崎県生涯学習情報提供システム

詳しくは、SUN-NETみやざき(宮崎県生涯学習情報提供システム)をご覧ください。

[<http://www.sun.pref.miyazaki.lg.jp/index.html>]

本年度の県による家庭教育の充実に向けた事業です。現在「親のふり返しシート」の作成中です。また、出前講座は9月から実施予定です。

～お知らせ～

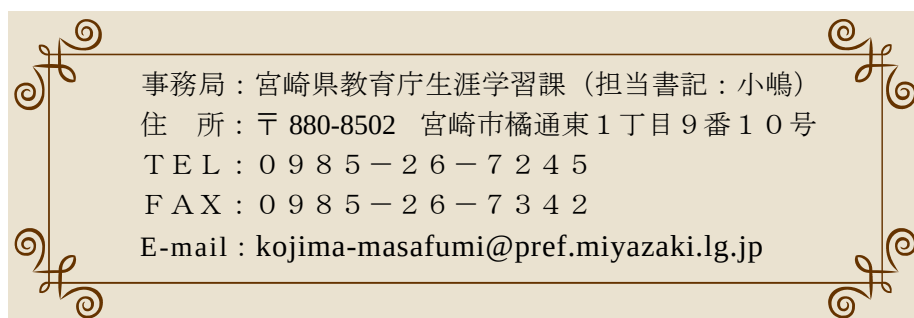


【事務局より】

- 平成21年10月28日から30日に「第51回全国社会教育研究大会熊本大会、第39回九州ブロック社会教育研究大会熊本大会」が開催されます。隣県熊本での全国大会と九州大会の同時開催であり、多くの参加を御期待いたします。

第1分科会「生涯学習」において、小林おもしろ発見塾塾長の大藺良一氏が話題提供者として発表をされます。

- 平成21年11月20日に「宮崎県社会教育研究大会及び宮崎県公民館経営セミナー」が高鍋町中央公民館で開催されます。今回の講演は、青山学院大学教授の鈴木真理氏に依頼しています。「学ばないこと・学ぶこと」(学文社)等の多数の著書を執筆されています。これからの生涯学習・社会教育に関して多くの示唆をいただけると期待しています。



生涯学習、社会教育に関する情報が、県の生涯学習情報システム「SUN-NETみやざき」で御覧いただけます。インターネットで、是非、アクセスしてください。

<http://sun.pref.miyazaki.jp/>

